

良好な自転車利用環境の創出
【第2回変更】

おだわらし
小田原市

平成29年3月31日

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

平成29年3月31日

計画の名称	良好な自転車利用環境の創出							重点配分対象の該当									
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)			交付対象	小田原市												
計画の目標	<p>本地区は、住宅の密集化や郊外型の大型店舗が立ち並ぶことから、自転車利用者が増加している。そのため、交通需要の増加に伴い、交通事故が増加している。また、低炭素なまちづくりの観点から、自転車利用の推進が図られていることや、自転車ネットワーク計画において整備優先区間に位置づけられていることから、自転車利用者の安全性や利便性を向上させることを目指す。</p>																
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車走行可能区間延長を84km(H27)から93km(H31)まで増加 ・自転車関連事故件数の減少 																
定量的指標の定義及び算定式								備考									
				整備延長	84km	88km	93km										
				事故件数	237件	230件	225件										
全体事業費	合計(A+B+C+D)	105百万円	A	105百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
A-1	交通	一般	小田原市	直接	小田原市	小田原市自転車ネットワーク整備事業	自転車通行帯設置工事 L=8.6km W=1.0m	小田原市						105			
									合計					105			
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
									合計					0			
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考		
									H27	H28	H29	H30	H31				
									合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考		
									H27	H28	H29	H30	H31				
									合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

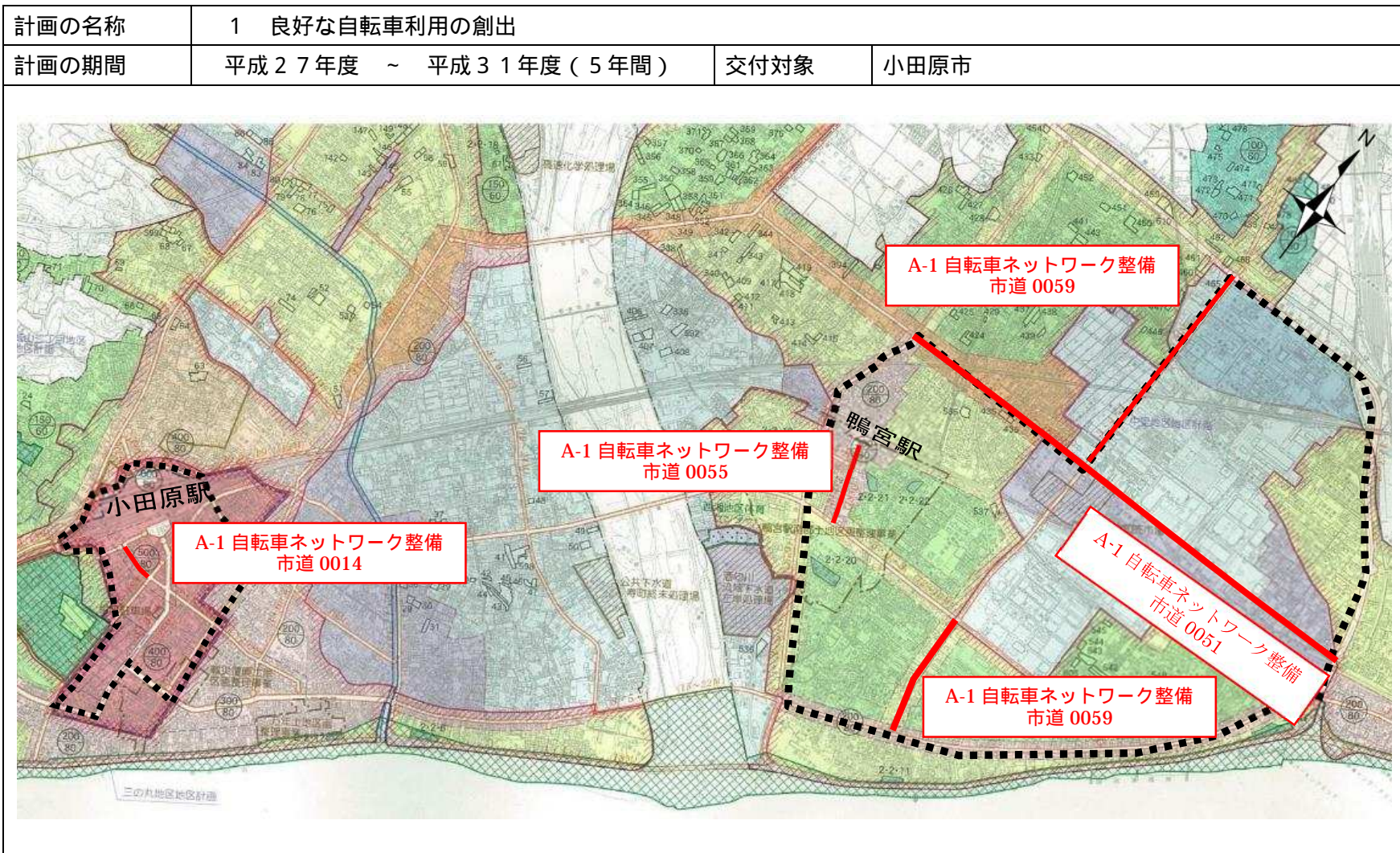
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	1	0.2			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	1	0.2			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	1	0.2			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。
 ※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考様式3) 参考図面



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 良好な自転車利用環境の創出

都道府県・市町村名: 小田原市

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1) 目標が小田原市自転車ネットワーク計画と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	
1) 地域の自転車需要の状況等を踏まえた目標となっている。	○
2) 地域の住環境等の状況を踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②定量的指標の明瞭性	
1) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
③目標と事業内容の整合性	
1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
2) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	
1) 計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○
2) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
1) 事業実施に関し、住民に対する事前説明が行われている。	○